教科	第２学年	熊野町立熊野中学校	指導者　廣澤　望

単元名

「 Program 9　A Video Project 」

本単元で育成する資質・能力　協調性・適応性・コミュニケーション能力，自ら考え判断する力，粘り強さ

単元について

この単元では，中学校学習指導要領英語（平成 20 年）の「（１）イ　話すこと」の「与えられたテーマについて簡単なスピーチをすること」，「（１）ウ　読むこと」の「書かれた内容を考えながら黙読したり，その内容が表現されるように音読すること」をねらいとしている。

この単元で学習する文法事項は比較級，最上級，as 形容詞 as である。生徒はこれまでに「look＋形容詞」や「become+形容詞」を学習している。したがって，本単元では形容詞を用いて新しい文法構造を整理するとともに，形容詞に er や形容詞の前には the を付け，形容詞の後に est を付けるなど，発話練習を十分に行った後に文づくりをすすめていく。それによって，実用性のある表現活動につなげる。

教科書本文では，登場人物２人が交換留学生に「学校紹介ビデオ」を送るために，部活動や学校行事への取組についての内容を説明した内容となっている。その文章に用いられている比較級，最上級，as 形容詞 as を正しく理解させ，お気に入りの学校行事や活動を取り上げ，ほかの学校行事や活動と比較しての魅力や特長を含めた「学校紹介」をテーマにした発表会を行わせる。

生徒の実態

２学年の生徒は，落ち着いた態度で集中して授業に取り組み，発表の場面があれば，積極的に挙手をする。また，英語の歌やチャンツなどが好きで，はじめは声が小さいが，歌えるようになると自信をもって大きな声で歌うことができる。また，多くの生徒がＡＬＴの言葉をよく聞き，反応する。

10 月に行なった生徒アンケートでは，「英語の勉強が好き」と肯定的に答えた２学年の生徒は 93.5%，「英語の授業がよくわかる」と肯定的に答えた生徒は，97.4%であった。平成 29 年度広島県「基礎・基本」定着状況調査において，通過率 30%未満の生徒はいなかった。しかし，普段の定期試験の結果から，複数名英語が苦手な生徒がいると判断できるため，配慮が必要である。

また，２学年は 10 月から Picture Describing を始めたため，絵を見て自分が気付いたことを発表しようとする姿が多く見られる。また，自分が言った英語を書きとめ，友だちが間違えた文法も一緒に直しながら文法などの知識を深めている。

単元の指導

本単元のゴールとして，生徒は教科書題材である「学校紹介」をテーマに活動を行う。自分の学校について ALT や友人に紹介するための英文原稿を作成し，発表を行う。発表に向けて，新出文法を正しく用いて相手を意識した原稿になるよう注意させるとともに，質問を投げかけたりするなどのスキルも身に付けさせたい。

発表では，アクセントや語と語のつながりを大切にしながら話すこと，準備した視覚資料（ポスターや写真など）を指し示しながら説明するスキルを身に付けさせたい。

また，新出文法の使用を必然的に促すために，お気に入りの学校行事や活動を取り上げさせ，そのほかの学校行事や活動と比較しての魅力や特長を表現できるよう工夫したい。

単元の目標

○「学校紹介」をテーマにした英文を８文以上で書くことができる。

【外国語表現の能力】

例１　I’m on the baseball team. It’s the largest team in our school. Do you know there are two types of baseball: rubber ball baseball and formal baseball? We usually　play rubber ball

baseball. Look at these balls. Which is harder, a rubber ball or a formal ball? A formal ball is. It's really hard and heavy. Thank you.

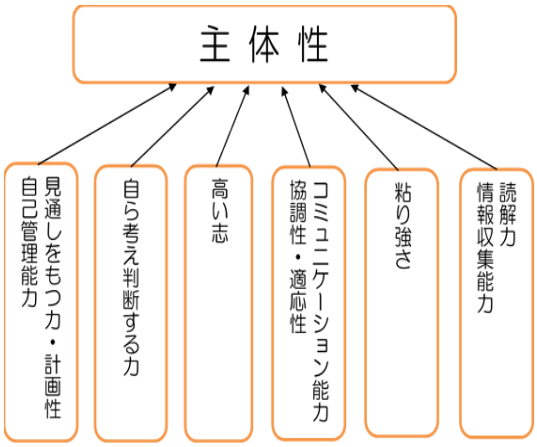
例２　I'm going to tell you about the sport festival. Look at this picture. We hold this event on September every year. We have three teams and colors. All the teams practice very hard. This year, blue team won. I didn't like running at first. But this year I practiced hard with my friends every day. I was fun very much. Now I like running.

○　比較級・最上級・as 形容詞 as の３つの文構造を理解する。【言語や文化についての知識・理解】
○　読み手が理解しやすくなるように書いたり，書き直したりしている。
【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

単元の評価規準

ア　コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ　外国語表現の能力	ウ　外国語理解の能力	エ　言語や文化についての知識・理解
①　辞書を活用するなどしている。 ②　読み手が理解しやすくなるように書いたり，書き直したりしている。 ③　ペアワークなどにおいて間違えを恐れず話している。	①　正しい強勢，イントネーション，区切りなどを用いて音読することができる。 ②　内容が表現されるようにジェスチャーを使って音読している。 ③　テーマを元にした英文を新出文法を用いて８文以上で書くことができる。	①　英語で書かれた内容を正しく読み取ることができている。	①　比較級の文構造を理解している。 ②　最上級の文構造を理解している。 ③　as 形容詞 as の文構造を理解している。

育成しようとする資質・能力の本単元とのかかわり



〈自己管理能力・見通しをもつ力・計画性〉

〈自ら考え判断する力〉
①必要な文法を用いて英作文できる。

〈高い志〉

〈協調性・適応性・コミュニケーション能力〉
②発表時，聞いている人の方を向いてはっきりと大きな声で発表する。
③聞く側はうなずいたりしながら聞こうとする。

〈粘り強さ〉
④上手く話せないところがあっても辞書や友だちに聞いて話そうとしている。

〈情報収集能力・読解力〉

指導と評価の計画

（全９時間）

次	学習内容（時数）	評価					
		関	表	理	知	評価規準 （評価方法）	資質・能力の評価 （評価方法）
1	課題の設定 第１回の授業でゴールを提示する。「ジルからのメッセージ」を読み，「学校紹介」をする必然性をもたせる。 Program9(1) ・ Basic Dialog を音読することができる。 ・ 比較級の形・意味を理解する。Listening・Speaking・Let's Try で比較級に慣れる。 ・ 形容詞を練習する。 ・P81 の本文を大まかに理解する。 ・P81 の本文を音読する。 ・P81 の要旨をまとめる。 ・P81 の本文を詳細に理解する。 ・Q&A に答える。 （２時間）	○			◎	ア③（観察） エ①（ノート）	④粘り強さ （発表・観察）
2	情報の収集１ Program9(2) ・最上級の形・意味を理解しそれを用いて簡単な対話ができる。 ・Listen・Speak・Try で最上級に慣れる。　【本時】 ・P83 の本文を大まかに理解する。 ・P83 の本文を音読する・ ・P83 の要旨をまとめる。 ・P83 の本文を詳細に理解する。 ・Q&A に答える。 ・「自分の町で一番のもの」について紹介する英文を書く。 （２時間）	◎			○	ア③（観察・ワークシート） エ②（ノート）	①自ら考え判断する力 （発表・観察） ②協調性 （観察・ワークシート） ④粘り強さ （ワークシート）
3	情報の収集２ Program9(3) ・as 形容詞 as の形・意味を理解する。 ・Listening・Speaking・Let's Try で as 形容詞 as に慣れる。	○	○		◎	ア③（観察） イ① エ③（観察）	④粘り強さ （発表・観察）

	まとめ・創造・表現 ・P85 の本文を大まかに理解する。 ・P85 の本文を音読する。 ・P85 の要旨をまとめる。 ・P85 の本文を詳細に理解する。 ・Q&A に答える。 ・Let's Try を参考に友だちといろいろなものごとを比べて対話する。（２時間）		○	◎		イ②（観察・ノート） ウ①（観察・ワークシート）	④粘り強さ （観察・ワークシート）
4	実行・振り返り ・「学校紹介」というテーマに沿って新出文法を含めた英文を８文以上書く。 ・友だちが書いた英文を読んで内容を理解し，感想を書く。 ・発表（テスト） ・比較級・最上級・as 形容詞 as を使ったリスニングテスト （３時間）	◎	○			ア①②（観察・ノート） イ③（ワークシート）	①自ら考え判断する力 （観察・ワークシート） ②協調性 （観察） ③コミュニケーション能力 （発表・観察）

本時の学習（３時間／７時間）

（１）本時の目標

最上級を用いてクイズを考えることができる。

（２）本時の学習展開

学習活動	指導上の留意事項（◇） 「努力を要する」状況と判断した生徒への手立て（◆）	評価規準 （評価方法）	資質・能力の評価 （評価方法）
１　帯学習（１０分）			
○ワードマラソン （単語一人読み） ○あいさつ ○Student Teacher（日直） ○Small talk（ペア活動）	◆単語の読みなど，練習時間に声をかける。 ・聞く態度を養うために，活動前に指示をする。 ・Student Teacher の話をしっかりと聞く。	ア③ （発表・観察）	④粘り強さ （観察）

予想される生徒の会話

Today's theme
A: where was the best place in Tokyo?
B: My best place was *Asakusa.*
A: Oh, good. What did you do?
B: I saw a big lantern.
A: Me too. What did you eat?
B: I ate *ningyo-yaki.* It was nice.

２　目標の確認をする。（１８分）			
【目標】最上級を用いてクイズを考えることができる。			
○辞書引きゲーム 「river」	・本文の内容から，重要な単語を取り上げ，ページ,読み方,意味，品詞を確認する。		
○新出単語の導入	・短時間でテンポよく行う。 ◆顔を上げるよう声かけをする。	エ② （観察）	⑤粘り強さ （観察）
○教科書 P82 の Basic Dialog の音読（ジェスチャーつき） （個人→全体→ペア→全体）	◆視覚的教材を用いる。 ・the をつけることを意識させるためにジェスチャーをつけて音読する。		
○Power Point を用いて全体で最上級クイズを行う。	◆視覚的教材を用いる。		
３　最上級クイズを作る。（２０分）			
○新出文法の導入	・視覚的教材を用いることで，語順にも注目させる。		
○最上級クイズを班で作る。 ○予想される生徒のクイズ Do you know the largest country in the world? Do you know the tallest girl in my class?　など	◆まずは４人班で１つ作り，最上級クイズの作り方を知る。 ◆比較級・最上級プリントを参考にしても良いことを伝える。	ア③ （観察）	③協調性 （観察）
○発表	・考えたクイズを出題し，全員で答えを考える。		①自ら考え判断する力 （発表・観察）
○ワークシート	・個人で最上級クイズを作る。	エ② （観察・ワークシート）	
５　本時のまとめと次時の確認をする。（２分）			
○振り返りカード	・振り返りカードに英語にしたかったけどできなかったものを書く。		（観察・ワークシート）
○宿題の提示 ○次回の予告	・ワークのページを伝える ・クイズが出来上がればクイズ大会をすることを伝える。		

板書計画

Gaol 最上級を用いてクイズを考えることができる。

Wednesday
December
thirteenth

menu

A: where was the best place in Tokyo?
B: My best place was *Asakusa*.

the 形容詞 est